



のこだわり物語

友情編

この物語はフィクションです。登場する友達はとてもおいしいです。ご注意ください。

その巻

ほんの昔、あるところに、くいしんぼうののらがおりました。のらは行く当てもなく旅をして

その日暮らしを満喫していたそうなの。

そんなある日、信州・安曇野を旅していると大きな池にサーモン君がおりました。

彼はとってもフレンドリー。

すぐにお友達になりました。

そんなある日の昼下がり、

なんてことでしょう。昼寝をしていると寝ぼけて

「ガブリー」友達を間違えて食べてしまったのです。

それがこの美味しい信州サーモンとの出会いでした。

安曇野には美味しい山葵も沢山あります。

一緒に食べるとトシえびアーン♪

その式

四国へ船で渡ろうとして遭難したのら。

流されていると船にエビさんが遊びに来ました。

仲良くなったのらは海老さんと毎日遊びます。

そんなある日の夜の事。なんてことでしょう！

美味しい夢を見ていたらその友達をガブリー！

またまた寝ぼけて食べてしまったのです。船の上には

お天道様の力だけで結晶化した「おいしいし天日塩」

がたくさん。

これをつけて食べてみるとこれがまたトシえびアーン♪

こうしてのらは沢山の旅をして沢山のおいしい食べ物

友達に出会いましたとさ。めでたしめでたし。

